

— GO ECO —
BAKECHEF
—
COOKING STOVE



BakeChef

Installation and Operating Instructions

取扱説明書

仕様表

	Bakechef
	ウッド燃料タイプ
本体寸法	W500mm × D608mm × H956mm
本体重量	203kg
本体材質	鋼板
最大出力	6.3kw
最小出力	3.8kw
燃焼効率	82.5% (木質燃料使用時)
CO排出量	0.07% (酸素13%時)
排気温度	210°C
排ガス質量流	4.8g/s
準拠規格	clearSkies / ecodesign ready / DEFRA EXEMPT
薪最大長	350mm
煙突口元径	φ 127mm
煙突方向	上部
オプション	煙突ヒートシールド ファイヤーボックスヒートシールド

はじめに

この度は、チャールトン&ジェンリック製品をお買い上げ頂き、誠にありがとうございます。
この取扱説明書では「ベイクシェフ」に関する使用方法とご使用上の注意事項が記載されています。
本機の機能を十分に発揮させる為、またお客様に安全にご使用いただく為にもご使用前に良くお読み下さい。
尚、本取扱説明書は大切に保管下さいますようお願い申し上げます。

目次

はじめに	1
目次	1
安全上のご注意	2～3
各部名称と付属品	4～5
ご使用の説明	6
日常のメンテナンスについて	7
パーツリスト	8～9

安全上のご注意

お客様、及び他の人への危害や損害を防ぐ為に、安全上のご注意をよくお読みになり正しくお使い頂きますようお願い申し上げます。



警告

警告事項を厳守しないと死亡や重症に至る重大な事故へとつながる危険があります



注意

注意事項を厳守しないと怪我、または製品に損傷を与える危険があります



警告

< ! > チャールトン & ジェンリック製品の設置及び煙突取付には法令、及び各都道府県や市町村自治体の条例が制定されています。設置にはこの事を十分に理解した上で行ってください。

< ! > ガソリン、灯油、アルコール、ビニール、プラスチック、ゴム、発砲スチロール、化学塗料、合成接着剤を使用した木材、防腐材を使用した木材は絶対に燃やさないで下さい。また本製品を焼却炉として使用しないで下さい。有毒ガスを発生させる原因になり、本体及び煙突を損傷させる恐れがあります。

< ! > ストープ燃焼中に本体の周辺にはガソリン、灯油、アルコール、スプレー缶等の引火の危険があるものは絶対に置かないで下さい。火災及び爆発の原因となる恐れがあります。

< ! > ストープ燃焼中に本体及び煙突周辺には引火性のある紙類、衣類などの可燃物は置かないで下さい。火災の原因となる恐れがあります。

< ! > ストープ本体及び煙突の改造は絶対にしないで下さい。火災などの恐れがあります。また本体及び煙突の性能を損なう危険がございます。

< ! > ストープを燃焼させる際は換気口より十分な給気を行ってください。室内の空気が不足し、酸欠状態になる危険があります。また煙や炎が室内へ戻る恐れがあります。

< ! > 燃焼中にドアのガラスにヒビや破損が生じた場合は直ちに使用を中止し、修理が完了するまでご使用にならないで下さい。

< ! > 灰は必ず完全に鎮火してから不燃性の容器に入れ、フタをして可燃物のない場所に保管し、各市町村の指示に従って廃棄して下さい。（灰の完全鎮火には長時間を要します）

< ! > 本体及び煙突のメンテナンスはご使用者様の安全を守るためにも1年に1回以上の清掃及び点検を行ってください。



注意

< ! > 燃焼中及び鎮火後、しばらくはストーブ本体及び煙突が高温になっています。火傷の原因になりますので素手で直接触れないようにしてください。

< ! > ストーブのご使用中に給気量調整、薪の投入などで本体に接触する場合は必ずストーブグローブをご利用下さい。火傷の原因となります。尚、本体の高温時にビニール系及びナイロン系の防護具を使用すると素材が溶け本体に付着する場合があります。

< ! > 本ストーブは輻射式暖房です。輻射熱を皮膚に長時間あてますと低温火傷の危険があります。特に乳児やお年寄り、身体の不自由な方が近くにいるときは十分に気を付けてご利用下さい。

< ! > 燃料の超過投入、燃焼空気の過剰導入はストーブ本体及び煙突が超高温になる事があります。超高温な状態は本体及び煙突の破損や劣化を早める場合があります。また超高温で使用する事で思わぬ火災を招く危険があります。

< ! > 薪燃料をご利用される場合は含水量20%未満まで乾燥させたものをご利用下さい。含水量が多いことで燃焼温度が上がらず、煤やタールを多く発生させる原因になります。また煤やタールが煙突内に付着し、煙道火災につながる恐れがあります。

< ! > 薪ストーブご利用シーズン前に必ず煙突内及びトップに排煙の妨げになるようなもの(鳥の巣、枝、落ち葉等)がない事を確認してからご利用下さい。そのまま使用すると火災の危険があります。

< ! > 灰の除去は完全に鎮火し、本体及び灰が冷めている事を確認してから行ってください。火傷の原因になります。

< ! > ガラスパネルの清掃は本体が完全に冷めている状態の時に行ってください。火傷やガラスの破損の原因になります。

< ! > ガasket等の交換は本体が完全に冷めている状態の時に行ってください。火傷や不具合が生じる原因になります。

< ! > 燃焼時に薪を追加する際は必ず空気調整を全開にしてから扉を開けてください。
給気が少ない状態時に扉を開けると大量給気により炎が飛び出す危険があります。(バックドラフト)

< ! > 換気について

定格出力が5kWを超えるストーブには、超過毎に5.5cm²の追加換気が必要です。

(例: 定格出力6.5kWのストーブには、8.25cm²の換気を設けて下さい)

定格出力が5kWを超えないストーブには、追加換気は必要ではありません。

< ! > 煙突のドラフトについて

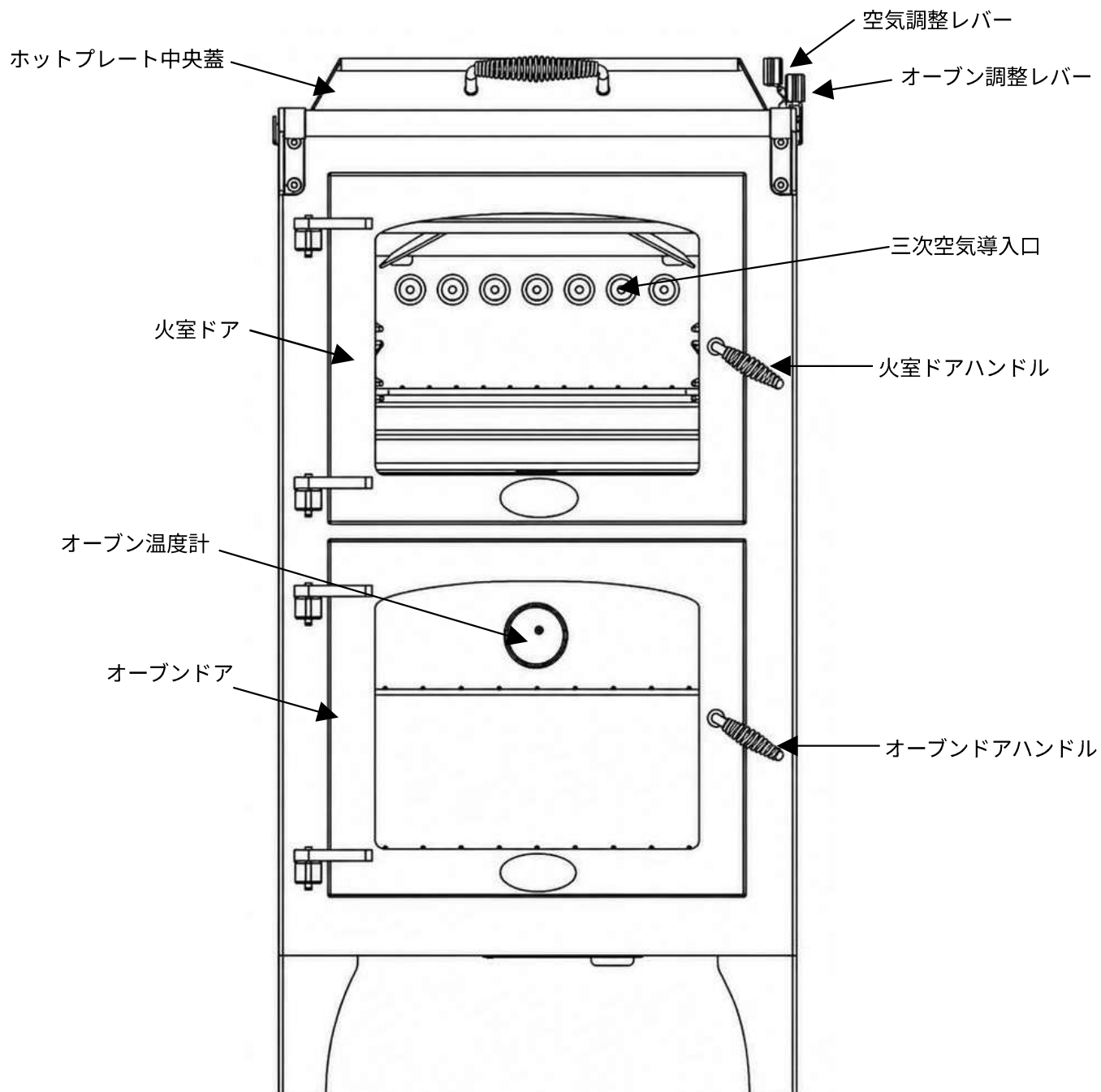
薪ストーブの性能を発揮させるためには、22～35パスカルの煙道ドラフトが必要です。

推奨最大値を超える場合は、燃焼速度を制御して過燃焼を防止できるようにドラフトスタビライザーを取り付ける必要があります。

大きな地震が発生した場合は揺れがおさまるまで慌てずに、ご自身の安全を守ることに努めてください。揺れがおさまりましたら、本体の燃焼室で燃えている燃料に乾いた大量の砂を被せて下さい。給気を失うことで炎は鎮火に進みます。尚、燃焼中に水などをかける事で本体を破損させるだけでなく、大きな災害につながる恐れがあります。
使用の再開については弊社または販売店へご相談下さい。

<< チャールトン & ジェンリック 日本総輸入元 >>
株式会社 エイコーテレス
049-272-7720

各部名称と付属品

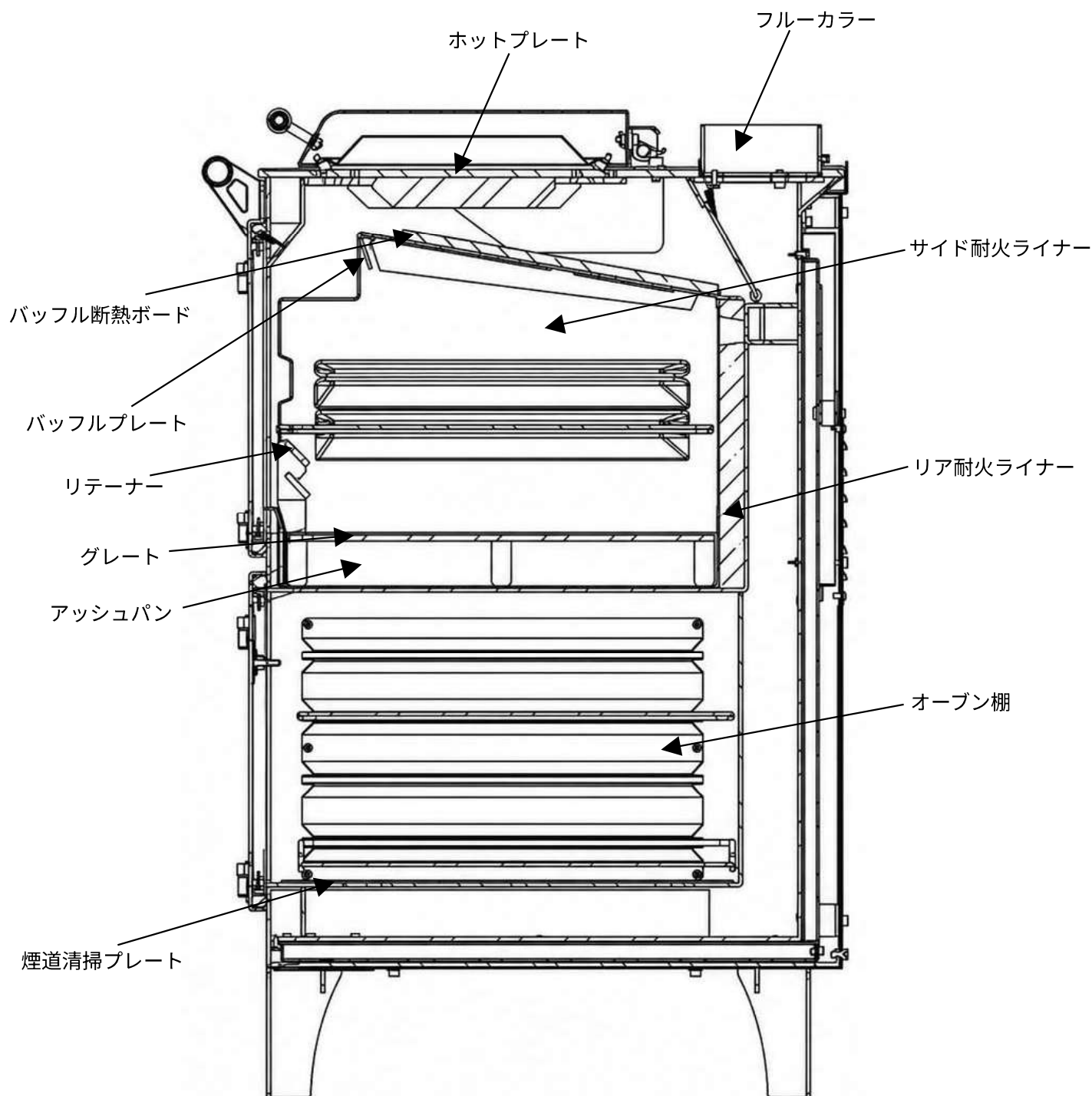


付属品リスト

品名	数量
オペレーティングツール	1
ストーブオペレーティンググローブ	1
グリル網	1
オープン網	2

オペレーティングツール





※スペアパーツのご注文は、弊社または販売店までご連絡下さい。
 ※スペアパーツの交換は必ずチャールトン&ジェンリック純正部品をお使いください。
 純正品以外でのご利用で本体に破損が生じた場合、一切の責任は負いかねます。
 詳しくは弊社または販売店にお問合せ下さい。

ご使用の説明

＜薪燃料使用時の着火から通常運転までの手順＞

空気調整スライダー(左側)を奥(「+」および「IGN」のマークがある位置)にします。オープン調整スライダー(右側)も奥(「-」の位置)にします。

炉内の中央に、十分に乾燥した小さな割薪を4～6本、交差させるように積み上げます。
次に、その4本の薪の上に、十分な量の乾燥した焚き付け材と着火剤を置きます。写真のように、薪を井桁(いげた)状に組む方法は効果的です。

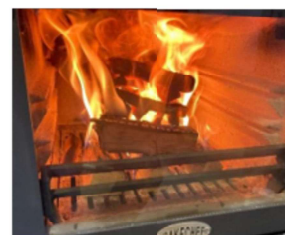
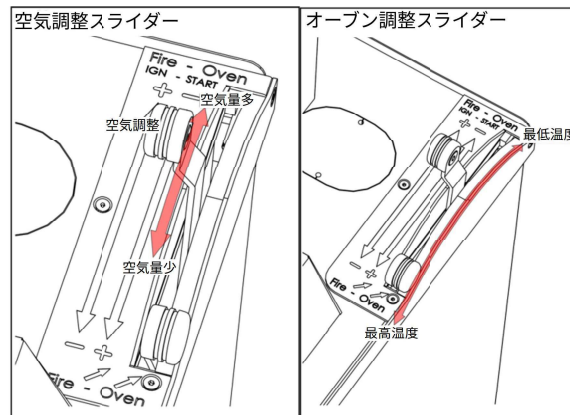
空気調整弁を全開にし、着火剤に火をつけます。火が回るまではドアを少し開けた状態(半開き)にしておきます。
※ストーブから離れないようにしてください。

最初の薪が十分に高温で燃え始めたらドアを閉めますが、空気調整弁は全開にしておきます。

燃焼が安定したら、小割薪を2～3本ずつ追加して火を大きくします。
※一度に4本を超える小割薪や、大きすぎる薪を入れないでください。
※火が安定しない場合は、焚き付け材を追加してください。

炎が消え始め、残った薪が赤く輝く熾火の状態になったら、燃料を追加する適切なタイミングです。新しい薪を追加した後は、空気調整を全開にし、約2分間または薪全体が黒くなるまでドアを少し開け、薪の上に炎が立つ状態にしてください。
※推奨する薪のサイズは、直径約75～100mm。
※重量1～2kg程度の中～大サイズの薪を1～2本

完全に鎮火してしまった状態から着火する場合は手順の最初からやり直してください。



オープン使用の場合

本製品は、火室からの放射熱と排ガスの対流熱を利用してオーブンを加熱します。

着火後、約1時間で調理可能な温度となり、通常は約200～250℃に達します。

高温調理を行う場合は、着火前に灰受けを空にし、着火から約1時間後にオープン調整スライダーを「Oven+」、空気調整を「Fire+」側に設定してください。

低温調理では、オープン調整スライダーを「Oven-」、空気調整を「Fire-」側へ調整することで、約140～180℃での調理が可能です。オープンドアの開閉は必要最小限にし、使用後は食品の付着物を取り除いて清潔に保ってください。

※最初の運転から、2～3回は低い温度での慣らし運転を行ってください。

この作業は、塗料を着実に硬化させ、塗料の耐用年数を長くさせる為にも必要です。

この際、塗料が焼き付くことにより、ストーブ本体から煙や臭いが発生しますので、お部屋を十分に換気してください。

※ドアノブを操作する際には、必ず付属のグローブをご使用ください。

※薪が背面の3次給気穴まで届かないようにしてください。

※バッフルやガラスに薪が触れないようにしてください。

※ホットプレート部分は、ご使用と共に変色し、金属製調理器具の表面によくみられるパティナを帯びますが、ご使用に問題はございません。

日常のメンテナンスについて

● 本体について ●

日常メンテナンスでは、乾いた布でホコリなどを拭きとって下さい。濡れた布や湿った布は使用しないでください。また薪ストーブ本体には錆を防ぐ耐熱塗料が施されています。使用頻度により剥離する場合があります。そのような場合は専用の耐熱タッチアップ塗料(別売り)で補修して下さい。尚、塗料には有毒なガスが含まれていますので良く換気をして行ってください。

※完全に鎮火した状態の時に行ってください。

● 錆(さび)について ●

鉄製の薪ストーブは設置環境により錆が発生する場合があります。錆が発生した場合はサンドペーパー等で錆を落とし、専用の耐熱塗料でタッチアップして下さい。尚、シーズンオフ中は 灰を除去し、炉内を十分乾燥させ、ドアをわずかに開け、空気調整を開いた状態にして湿気がこもらないようにして下さい。

● ガラスパネルについて ●

ガラスが汚れた場合は、ストーブが完全に冷えていることを確認し、薪ストーブ用ガラスクリーナーまたは柔らかい布で清掃してください。研磨剤は使用しないでください。湿った薪や空気を絞すぎた燃焼では、ガラスに煤が付着しやすくなります。高温時には火傷の原因、ガラス破損の危険性があるので絶対に行わないでください。

● 灰について ●

アッシュパンに溜まった灰は定期的に除去して下さい。炉床には約1～3cm程度の灰を残すと着火しやすくなります。除去作業では薪ストーブ本体が完全に冷却され、完全に鎮火してから行ってください。

● バッフルについて ●

使用中および長期間使用しなかった後(例:夏季)は、バッフルプレート上部に煤や灰が溜まっていないか定期的に確認することが重要です。煙道入口が詰まっていないことを確認するため、必要に応じてバッフルプレートを取り外してください。バッフルプレートは消耗品であり、時折交換が必要になります。

● 耐火ライナーについて ●

耐火ライナーの状態を確認するため、定期的に燃焼室内部をブラシで清掃してください。尚、耐火ライナーは非常に耐久性の高い炉内材であり、下地の鋼材が火にさらされない限り、ひび割れがあっても使用を継続できますが、落したり、突起物を当てる事で破損します。取扱いには十分に気を付けてください。

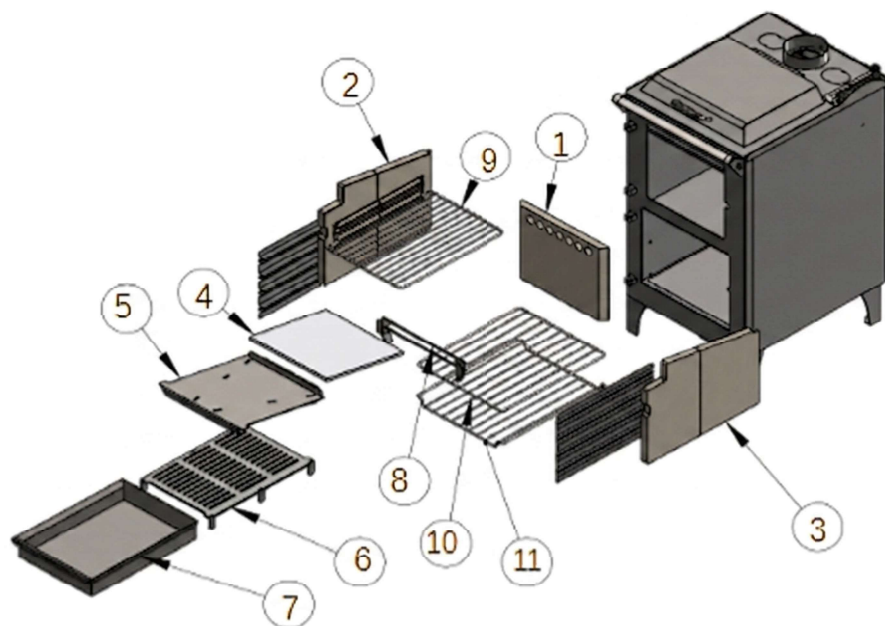
● 煙突について ●

水分の多い薪を利用し、給気も絞り気味でご使用された場合に煙突に大量の煤やタールが付着する場合があります。このままでのご利用は煙道火災の原因ともなりますので、煙突内の清掃を行ってください。

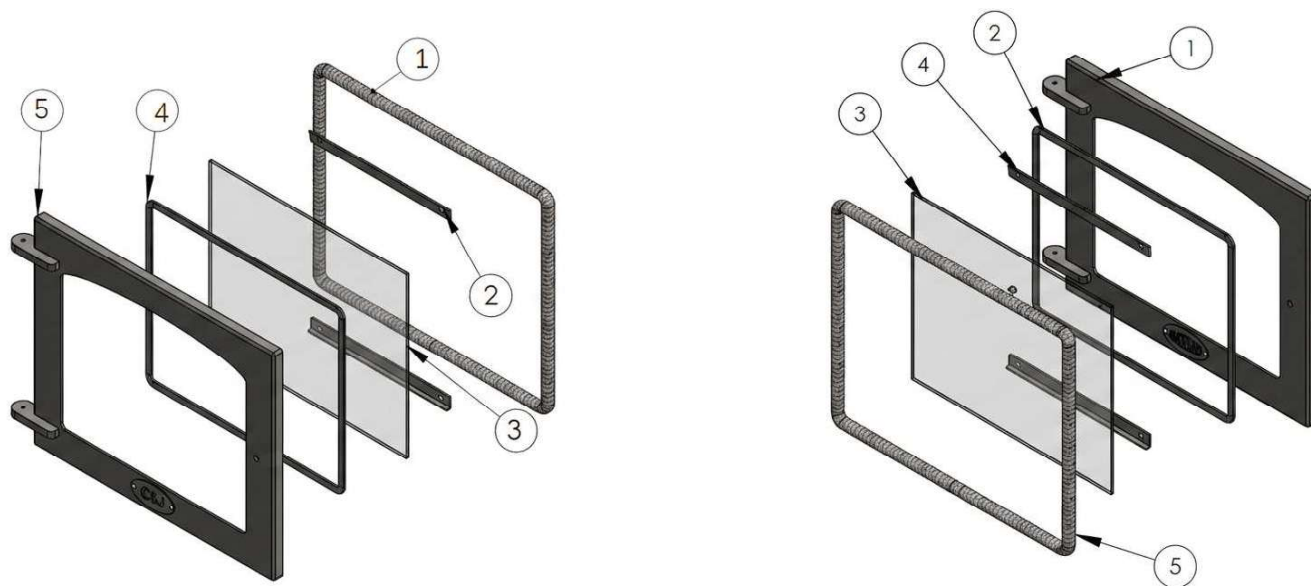
特に煤及びタールは冷却される事で凝固する性質があります。従って、煙突のトップ及び鳥の侵入を防ぐ防鳥網に多くついていることが多いです。尚、高所での作業となりますので安全対策をしっかりと行って作業をして下さい。高所に不安がある方は専門家に依頼する事をお勧めします。

また、煙突は少なくとも1年に1回以上の清掃及び点検を行ってください。

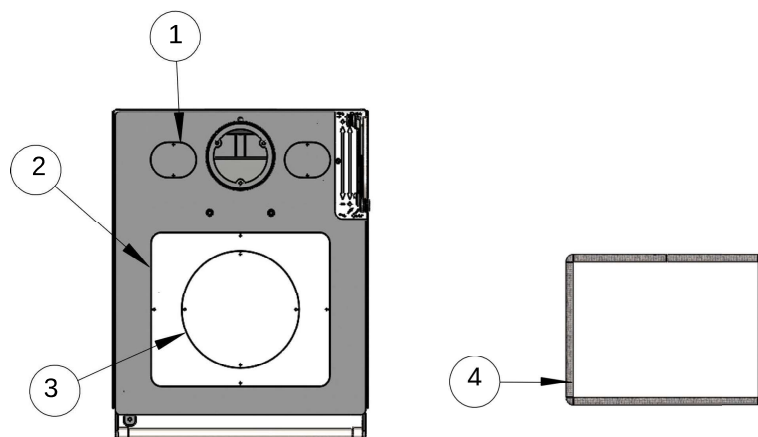
パーツリスト ストーブ



火室ドア/オーブドア



ホットプレート



品名	品番
ストーブ本体	
①リア耐火ライナー	8991
②レフトサイド耐火ライナー(前後)	8990
③ライトサイド耐火ライナー(前後)	8989
④バッフル断熱ボード	8995
⑤バッフルプレート	8994
⑥グレート	8992
⑦アッシュパン	8993
⑧リテーナー	9633
⑨火室用網	—
⑩オープン用網	—
⑪オープン用網段差有	—
⑫耐火ライナーセット(リア、サイド(前後))	A-1002
⑬オペレーティングツール(展開図には未記載)	8984
火室ドア	
①ドアシール(1370mm×14mm)	9523
②ガラスリテーナー	8988
③火室ドアガラス	8985
④ガラスシール	9522
⑤ドア(フレームのみ)	9000
オーブドア	
①ドア(フレームのみ)	9000
②ガラスシール	9522
③オープンガラス	8986
④ガラスリテーナー	8988
⑤ドアシール(1370mm×14mm)	9523
⑥オープン温度計	8998
ホットプレート	
①クリーニングプレート	9019
②アウターホットプレート	9011
③インナーホットプレート	9010
④ホットプレート蓋ロープシール	—

※スペアパーツのご注文は、弊社または販売店までご連絡下さい。
 ※スペアパーツの交換は必ずチャールトン&ジェンリック純正部品をお使いください。
 純正品以外でのご利用で本体に破損が生じた場合、一切の責任は負いかねます。
 詳しくは弊社または販売店にお問合せ下さい。

Charlton & Jenrick^{LTD}

Best of British fires, fireplaces & stoves

チャールトン & ジェンリック 日本総輸入元

株式会社エイコーテレス

〒350-2223 埼玉県鶴ヶ島市高倉1241-9

TEL 049-272-7720 FAX 049-272-7765

<https://www.charltonandjenrick.jp>